

## ご挨拶

旧簾舞通行屋保存会

会長代行 藤 沢 信 幸

通行屋保存会も札幌市の指定有形文化財となった旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)と使用許可を頂き建物に内設されている簾舞郷土資料館の公開(昭和61年4月13日)に始まり、30年と言う節目を迎え



地区の重要な宝であり、歴史的遺産を後世に伝えるべく文化財保護と運用を前提に活動しております。これに付随して国道230号の前身となった本願寺街道跡は、地区の史蹟でもあり市の「ふるさと文化百選」にも選定され、この維持と管理のため毎年草刈清掃事業も行っています。また、9月に開催している「通行屋まつり」は地区

ばかりでなく近郊や市内からも大勢集まり終日賑わって、会員も総勢で芸能発表のイベント係や通行屋館内での『地区歴史映像鑑賞会』とコーヒーの無料サービスを提供し、来館者に大変喜ばれているのは嬉しいかぎりです。

さて、近年の居住者は地区外からの人が多くなり、簾舞や豊滝に生まれ育ち古きを知る方も少なくなり、今のうちに記憶と記録を集大成し、保存をしなければと考える次第です。先年に保存会が中心となり、「簾舞歴史写真集」を発刊したことは記憶に新しいところですが、これを更に加筆等をして皆様に「地域の歴史シリーズ」と題し(A4版・横形)今と昔を知る資料や糧(かて)として不定期ですが回覧にて発行致しますので、「通行屋たより」と合わせて一読して頂ければ幸いです。今後とも地区に関わる歴史情報の提供や当会の運営にご支援とご協力をお願い申し上げます。

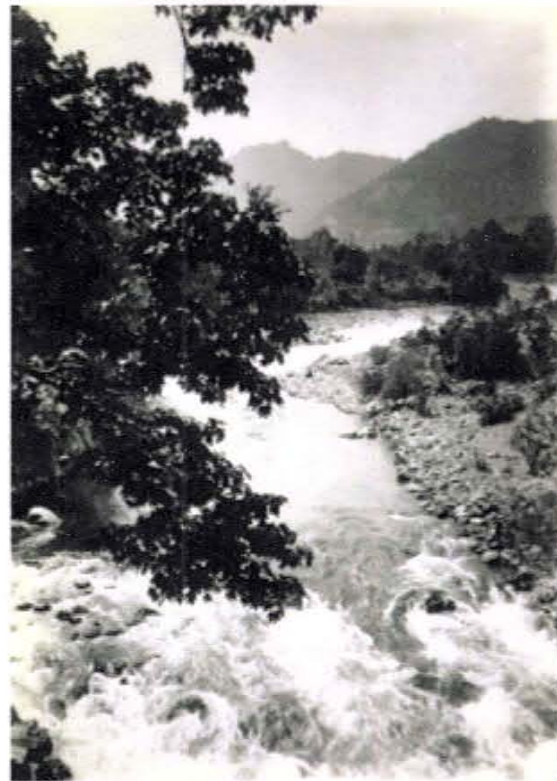
(おくやみ) 会長 高島 誠 氏(72)は病氣療養中でしたが平成27年12月12日治療の甲斐なく、ご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。 合掌

歴史写真集の発行に寄贈された貴重な写真や発行後に図書・雑誌や歴史・記念誌などで、新たに発見された写真をも含めて総数約500枚以上を1枚～丹念に調べあげて、撮影した当時の記録等を詳細に記帳しております。あと何年かかることやら…、出来上がりの楽しみと…不安とが交差しております。

(総務 黒岩 裕)

## 地域の歴史シリーズ No.98 2016.3 発行 旧簾舞通行屋保存会

簾舞の地名は、アイヌ語が語源で最初は「ニセイオマップ(溪谷にある川)」と呼ばれたり、(断崖絶壁から落ちる川)とも言われた。明治5年4月に開拓使により、「簾舞(みすまい)」と呼名と漢字が宛てがわれましたが、この時代には一部の部落住民において就って「ミノマップ」とも呼んでいました。北海道の名付け親として有名な探検家松浦武四郎は安政5年2月12日にここを通り、川附近(豊平川)にかかると岩壁の端が川に突き出ている箇所があって、這うようにしてようやく越えたと記述しています。また別紙では「ニセイオマップ」左りの方小川、是も川口は滝に成りて本川(豊平川)え落ちる也。下る事また此処にニセイケ有によって、其上をこえ、下りて平地しばし行やまた向岸と書かれており、今の御料峡附近を踏破するのに難儀した様子が伺えます。



1.深岩(簾舞)ダムが出来る前の豊平川 大正13年4月27日



2.地名の由来と思われる東御料川の落口



4.崖・柱状節理の岩壁(旧御料橋附近)



3.豊平川に流下する落口の拡大



5.新御料橋と柱状節理

## 豊平川とニセイオマップ(簾舞)の由来

資料 簾舞郷土資料館

## 通行屋 & 資料館 ここに注目



建物はmini開拓村  
展示品は昔を語る  
教科書です



「赤エゾ松」の大きな年輪木は、私が特別なチェーンソーで無意根岳にて切り倒しました。標本として三枚輪切り、上部が簾舞へ中部は後で薪になってしまい下部が一番大きくどこか(旭川営林署…?)で展示されていると思います。 会員 八谷義政(1区)



玄関に入ったら鹿の剥製の右横に注意、ビニール箱に何かがある… 私の小屋で脱皮した青大将(蛇)の脱け殻、縮まっても160センチ 青大将はネズミなど退治する守り神、写真の掴んだ蛇は簾舞川に放しました。 会員 星 信(1区) ※蛇は、通行屋にも入館し昨年は外国人がを見つけ、お互いにビックリ